

大盛況

地域支えあいセンター 開所記念講演会



◆ 来場者、113名

令和3年10月3日、晴れやかな日曜日の午後。高根沢町町民ホールでは、町社会福祉協議会が新たに設置する相談機関「高根沢町地域支えあいセンター」の開所記念講演会が開催されました。緊急事態宣言が明け、マスクに検温、消毒と、しっかり感染症対策をして訪れた来場者は、実に113名にも昇ります。

講演会は2部制。前半には県保健福祉課の出前講座「地域共生社会の実現を目指して」に続き、センターの事業紹介。後半には那珂川町で「まちまもり」を理念に掲げ事業を展開する“合同会社繋ごう農村”から、代表の佐藤様を迎えての記念講演①「移動スーパーでずっと暮らせる地方を創る」。同じく繋ごう農村より、県内初のコミュニティーナースとして活動する坂本様による記念講演②「コミュニティーナースってなに？」がそれぞれ行われました。

◆ 好評な意見多数

ユーモアを交えながら進める講師たちの話に、来場者の皆さまも熱心に耳を傾けていました。参加者からは「住民から重宝されるセンターになってほしい（70代男性）」「話を聞いて希望が持てた。年を取って身体が衰えていくのは目に見えているが、できればこの町で最後まで暮らしていきたい（70代女性）」などの感想を頂いています。

◆ センター愛称は「まるっと」に決定

講演会開催に合わせて、地域支えあいセンターでは、センターの愛称を皆さまから募集していました。今回、10名の方から16件の応募を頂きました。中には、お一人で7個もの愛称を考えてくださった方や、芳賀町や埼玉県加須市など遠方から応募してくださった方もいます。

そんな中から、見事センター愛称に採用されたのは、町内在住の永田吏磨子さんから応募いただいた「まるっと」です。

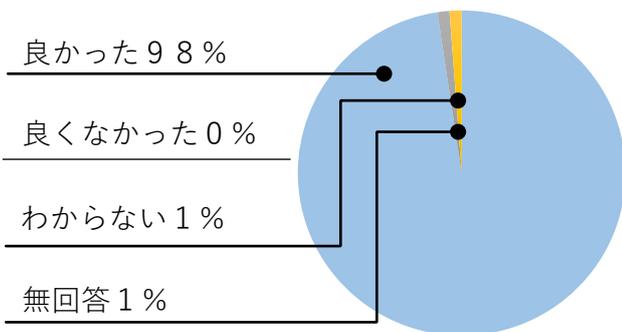
「まるっと」という言葉は、まさに「地域をまるごと受けとめる」地域支えあいセンターに役割にぴったり。



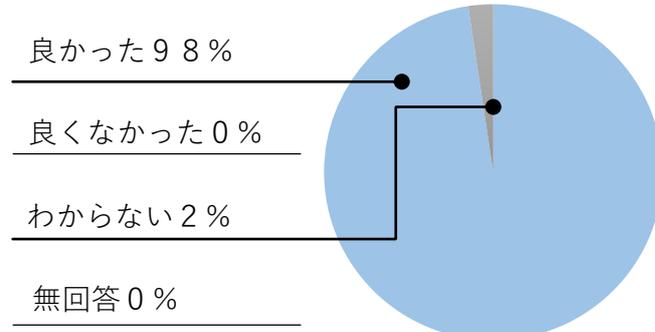
愛称に合わせてロゴマークを作りました

◆ アンケート集計結果

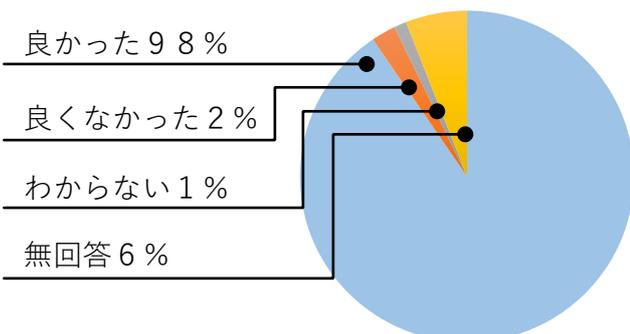
問1 県政出前講座「地域共生社会の実現を目指して」について



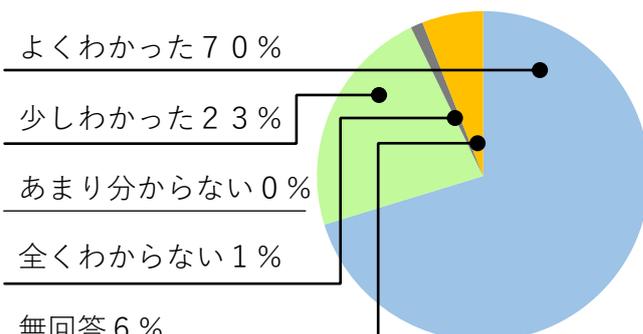
問2 記念講演①「移動スーパーでずっと暮らせる地方を創る」について



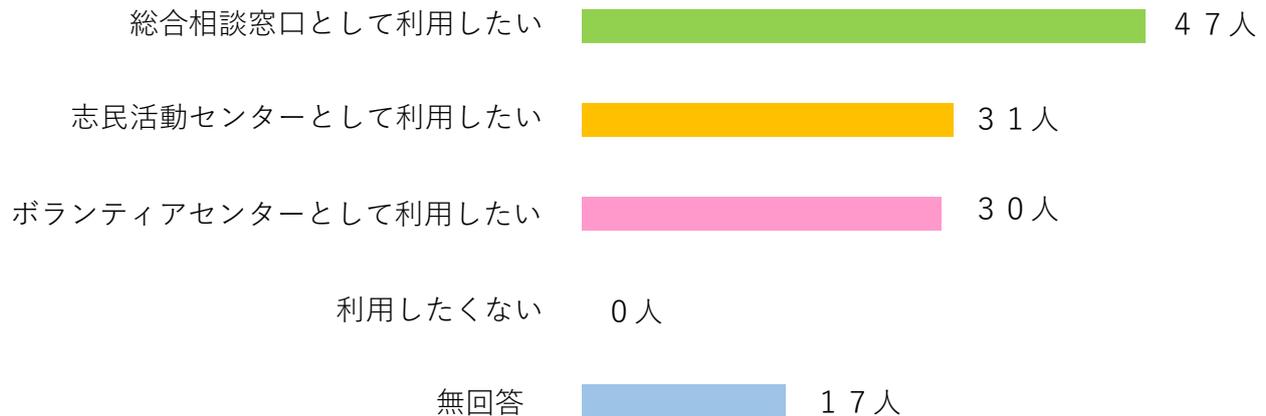
問3 コミュニティナースってなに？



問4 地域支えあいセンターの紹介について



問5 今後、地域支えあいセンターを利用してみたいですか（複数）



◆ 皆様からのご質問への回答（繋ごう農村の方にお聞きしました）

Q1 さくら市にもコミュニティナースはいるのでしょうか？

〈A〉 現在、繋ごう農村以外にさくら市でコミュニティーナースという名称で活動している方はいないと認識しています。
今後、コミュニティーナースを県内でも増やす活動をする予定です。

Q2 移動スーパーはどの範囲まで行きますか？他市町でも活動しているのでしょうか？

〈A〉 現在、那珂川町、宇都宮市、鹿沼市、さくら市、大田原市、那須塩原市、高根沢町、那須町で活動中です。
その他の地域については、ご相談ください。

ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。
地域支えあいセンターをどうぞよろしく願いいたします！